

明智五宿老の一人、藤田伝五が守山に

藤田伝五に想いを馳せる

令和2年

11月29日(日)

受付 / 9:10

開会 / 9:30

閉会 / 13:00頃

場所 / 守山市民ホール 小ホール

参加費 / 無料(130名まで 要予約)

第一部 藤田家当主・藤田泰夫氏と語る

「藤田伝五ゆかりの地 守山」

第二部 もりやまふるさと劇団公演

「戦国のジャスティス

～藤田伝五の物語～」

第三部 今村翔吾氏特別講演

「今こそ歴史から学ぶこと」

特別公演

講師：今村翔吾氏

作家 京都府出身、滋賀県在住。

ダンスインストラクター、作曲家、

守山市での埋蔵文化財調査員を経て、専業作家に。

羽州ぼろ蔵組『火喰鳥』でデビュー、著書に松永久秀を描いた『じんかん』や最新作『襲大鳳(下)』などがある。



申込はこちら→

お問い合わせ先

守山市観光物産協会

住所
TEL
HP

〒524-0021 守山市吉身三丁目11番43号

077-582-1266

www.moriyamamayamamori.jp

藤田伝五に想いを馳せる

名だたる戦国武将が拠点とし、天下を目指した近江(滋賀県)。その南東部に位置する守山市で今、ある一族が歴史愛好家の話題を集めています。市内在住の藤田泰夫氏。同氏が明智光秀の家臣・藤田行政(伝五)の子孫ではないかというのです。藤田伝五は半生が詳しくわからない人物であるだけに想像は膨らみます。この度、そんな『藤田伝五』にスポットを当て、講演会を開催する運びとなりました。

我が家の歴史が地域の宝

今回登壇いただく藤田泰夫氏が藤田伝五の子孫ではないかと話題になったきっかけは些細なことからでした。先祖から受け継いだお墓を守る中、ふと先祖を確認しようと思い立ち、観音寺(守山市水保町)の篠原啓人住職に藤田家の過去帳を作ってほしいと依頼したことに始まります。平成28年のことでした。



一 明智光秀家臣団伝承ここにあり 一

篠原さんは依頼を受け、改めて寺の古文書や永代供養をしている位牌の戒名などを調べ始めました。その中で藤田氏の家に伝わっていた家系図も調べることになり、ついに藤田伝五の名が発見されることとなったのです。当初歴史に関心が薄かった藤田氏でしたが、観音寺の檀家さんたちが顕彰実行委員会を発足したり依頼された講演会での反響を目の当たりにし、先祖の歩んだ歴史に興味湧いてきたそうです。このことについて「何気ない日常から出会いの糸が繋がり、触れることのなかったであろう歴史や人物と出会うことができ、紡がれていく。とても興味深いことです。そしてそれが今や私のライフスタイルの一部になっている。全てがめぐりあわせでありご縁ですね。」と目を細め語ってくださいました。



藤田家系図の前に語る藤田さん



藤田家系図より (藤田氏蔵)
伝三行久 伝五行政の記載が読み取れる

天台真盛宗 観音寺

守山市水保町にある観音寺は明智光秀の菩提寺である西教寺(大津市)の末寺。天平元(729)年、聖武天皇の勅願を受けた慶俊法師が、当時の管領と協力して伽藍を草創し、自ら彫刻した聖観世音菩薩立像を安置。湖光山円通寺と号したことに始まります。

参道沿いに現存する山門からやや離れたところに植樹された藤は、「平治の乱」で平家に敗れた源頼朝公が逃走中同寺を訪ね、再起を祈願した際に植えられたものと伝えられています。「平治の乱」後に、その祈願が満願成就したことより頼朝は観音寺に広大な土地を寄付、大伽藍を建てました。兵火に遭い当時の建物は消失しましたが、天文5(1536)年西教寺第4代・真叡上人を招いて再興され、現在の寺号に改められました。

観音寺は行政公(伝五)をはじめ藤田一族の菩提寺であり、行政公の甥・藤田彦左衛門尉貞勝(ふじたひこざえもんのかみ)公が永禄12(1569)年に寄進された絹本着色仏涅槃図(市指定重要文化財・毎年2月の涅槃会にて御開帳)が今も大切に保存されています。



源頼朝公が植樹したとされる藤



観音寺 篠原住職

親しみやすい人柄と温厚なまなざしが印象的な篠原啓人住職は「当山とのかかわりがある『伝五』。長い間、歴史の闇に葬り去られてきた『伝五』に光を当ててくださり、心より感謝申し上げます。コロナ禍で、リスクや不安をゼロにすることが出来ないこの時代。本企画を通じ、『伝五』が皆様に心からの「エール」をお送りくださることでしょ」とお話しくださいました。

藤田行政(伝五)



伝五は通称。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」では伝五郎として登場。光秀同様前半生は謎ですが下級武士として武士の世界と庶民の世界をつなぐ重要なポジションとして描かれています。俳優の徳重聡さんが演じ、「武芸に優れた実直で豪快な男」として序盤から活躍。ドラマ中キーマンとして描かれ、光秀が本能寺の変で謀反を相談した「明智五宿老」の一人とされています。同年、光秀が羽柴(豊臣)秀吉に敗れた山崎の戦いで負傷し、その翌日勝龍寺城陥落の報に接し、自刃しました。

所在地 〒524-0102 滋賀県守山市水保町142

連絡先 077-585-1226

事前予約 要(大人数での参拝や寺宝の説明・法話、「絹本着色仏涅槃図」「絹本着色十王図」「石造板碑」の拝観をご希望の方は7日前までに要予約)

参拝時間 午前9時 - 午後5時 (団体の訪問は30名まで可)

拝観料 志納